

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	平成30年度第4回武蔵村山市市民協働推進会議
開 催 日 時	平成30年11月14日（水）午後7時～9時10分
開 催 場 所	ボランティア・市民活動センター会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：田中委員、瀬口委員、藤崎委員、一色委員、金澤委員、山田（行）委員、村野委員、高尾委員、山田（義）委員 欠席者：清野委員 事務局：協働推進課長、協働推進課係長、協働推進課主事
プレゼンテーション	協働事業提案制度平成31年度実施事業プレゼンテーション
議 題	採択すべき事業の選定について
そ の 他	1 報告事項 2 次回の会議の開催日程について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	協働事業提案制度平成31年度実施事業プレゼンテーション 提案団体によるプレゼンテーションを2団体実施した。 議題 採択すべき事業の選定について 2団体とも採択された。 その他 1 報告事項 第3回会議で質問のあった、傍聴者がいる場合の資料配布について その他 2 次回以降の会議の開催日程
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (発信者) ◎印：座 長 ○印：委 員 □印：提案団体 ■印：市担当課 ●印：事務局	◎ プレゼンテーションについて、事務局からの説明をお願いします。 ● 事務局からプレゼンテーション方法の説明 プレゼンテーション15分 質疑応答30分 司会進行役：ボランティア・市民活動センター長 協働事業提案制度平成31年度実施事業プレゼンテーション 事業番号30-1 団体名：MSP 村山サポートプロジェクト 事業名：むさむら ゴミ減大作戦 ～提案団体によるプレゼンテーション～ ○実績の800人は来場者以外に関係者等を含めているのか。 □来場者のみ ○来場者にアンケートを取っていないのか。 □ゴミ減のイベントなのにゴミを出してると言われなかったために、アンケートは取っていない。 ○子ども向けの講座はどのくらいの頻度を予定しているか。

審 議 経 過

(主な意見等を原則として
発言順に記載し、同一内容
は一つにまとめる。)

(発信者)

- ◎印：座 長
- 印：委 員
- 印：提案団体
- 印：市担当課
- 印：事務局

- まずは1回村山学園で実施し、年間で3回実施したいと考えている。
- 予算を見ると消耗品が大半を占めているが、補助金がなくなった後にも使える機材等の購入を検討してはどうか。
- 印刷するためのインク代がかさむため消耗品費はどうしても高額になってしまう。事務局と相談して備品購入も検討していきたい。
- アンケート用紙がゴミになってしまうのは分かるので、紙ではなくボードにシールを貼る形式であれば、ゴミは削減できるのではないかと。
- その案は採用したいと思う。
- 啓発物品（水切りネットなど）はイベント会場以外に配布しているところはあるのか。
- 日本語の会と一緒にいる外国人向けの日本語教室や職場でも行っているが、評判が悪い。
- キッズゴミ削減講座の内容はどのように考えているのか。
- 低学年は遊びを織り交ぜながら、中高生はクイズ方式を考えている。問題もできているが、出来がまいち。
- 3R意識から4R意識に行政側も移行していったらMSPは移行しないのか。
- 3Rを知らない方がまだまだいるので、今は移行することは出来ない。それは次のステップと考えている。
- 村山は26市でもゴミが多い方なので、この事業は目の付け所が良い。外国人の方はどうやってリーフレットを配布していくのか。
- 一緒に行っている日本語の会の講座や市役所窓口、職場等を考えている。
- 団体の会員は何人
- 9人。その他に中学生ボランティア等がいる。
- 今後会員数やボランティアを増やしていくことも考える必要がある。
- 協働型になるときは担当課はどこを考えているか。
- ごみ対策課を考えている。

事業番号30-2

団体名：みつつのわ

事業名：みつつのわ 国際Fesと文化交流

担当課：協働推進課 協働推進係

～提案団体によるプレゼンテーション～

- 毎週木曜日なのはなぜか。
- 三ツ藤自治会館の借用上、空室が木曜日のみで仕方なくこの曜日になった。ただし、木曜日だけ都合がつかない方から意見をいただいているので、別の場所で行うイベントも考えている。
- 国際Fesを三ツ藤自治会館で行うとなっているが、ケータリングの匂い等近隣の方に配慮する必要があるがどう考えているか。
- イベントごとに近隣の方に挨拶しているので、大丈夫かと思うがもう少しイベントの中身も含め考えていきたい。
- 協働担当課に質問。協働担当課からは是非村山党を呼んで国際交流を一緒に盛り上げてほしい。
- そういった企画も含め協力していきたい。
- 木曜日だけでなく、土日にも手を広げてほしい。あきらめず、他の使用団体と交渉するべき。

<p>審 議 経 過 (主な意見等を原則として 発言順に記載し、同一内容 は一つにまとめる。)</p> <p>(発信者) ◎印：座 長 ○印：委 員 □印：提案団体 ■印：市担当課 ●印：事務局</p>	<p>□ほかの曜日のイベントも増やしていくつもりである。 ○三ツ藤地区以外にもイベントを行って、市全体で国際交流が図られるようにしてほしい。 ○34年度以降は市からの補助金は無くなるが、どうするつもりなのか。 □個人から協賛をいただくことも多くなってきたので、今後は企業からの協賛が増えるよう努力していく。 ○多世代交流と国際交流のどちらに進んでいくのか。 □人と人のつながりを大切にしているので、どちらかということではなく、両立できると考えている。 ○外国語の習得を行ったりしているのか。 □イベントの中で簡単な言語を教えてもらっている。 ○村山かるたづくりとはどのような内容か。 □村山を懐かしみながら作っていくもの。 ○30年度実施事業のイベントで「ホストタウンモンゴルについて知ろう」とは何か。 □市の出前講座に依頼をしてモンゴルについて話していただく。モンゴルを知ってもらうことが目的。</p> <p>議題 採択すべき事業の選定について</p> <p>— 審査過程非公開 — 2 団体とも採択する。</p> <p>その他</p> <p>(報告事項) ●前回第3回会議で一色委員から質問のあった、審査要領から傍聴者への資料配布の表記を削除した件について、経緯を報告。審査要領に表記はないが今後も引き続き、傍聴者に資料を配布し、退場時に回収することとなった。</p> <p>(次回以降の) ●次回の会議は2月ごろを予定しており、詳しい日程は後日調整のうえ各委員に連絡する。議題は「平成30年度実施事業報告会の実施要領について」と「平成32年度実施事業募集要領について」を予定とする。 なお、平成31年度の実施事業の応募団体が少なかったことから、現在の提案応募方式から行政がテーマを決めて募集する方式を盛り込むことを検討しているため、委員の皆様から意見を頂戴することも想定している。</p> <p>◎ これをもって第4回会議を閉会する。</p>
---	--

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p>□公 開 <input checked="" type="checkbox"/>一部公開 □非 公 開 ※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>傍聴者： _____ 0 人</p> <p>〔 事業の採択に関する審査過程を明らかにすることで、公正な事務をおこなえなくなる恐れがあるため 〕</p>
-------------------------	--

会議録の開示・ 非開示の別	<input type="checkbox"/> 開示 <input checked="" type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等：武蔵村山市情報公開条例第8条第5号） <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等：）
------------------	--

庶務担当課	協働推進部 協働推進課（内線： 242）
-------	----------------------

（日本工業規格A列4番）